

令和5年度 墨田区立吾孺立花中学校 経営報告書

令和6年3月15日

| | |
|----------------|---|
| <p>学 校 目 標</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○進んで学び、深く考え、行動できる生徒 ○誠実で、思いやりのある生徒 ○自らきたえ、心身ともに健やかな生徒 |
| <p>目指す学校像</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○「寄り添い、共に歩み、喜びを分かち合う学校」 ○「だれにでもやさしい学校」 ○「学力向上」を図る授業改善 ○「自主自律」を育む生活指導 ○「自尊感情」を育む学校行事・部活動 ○「地域への愛情」を育む連携行事 |
| <p>目指す子供像</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○学習や様々な活動に意欲的に取り組み、目標に向かって努力する生徒 ○社会のルールを理解し、規範意識を身に付け、社会に貢献しようとする生徒 ○人の立場を理解し、協調性のある生徒 ○心身をきたえ、思いやりのある生徒 |
| <p>目指す教師像</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○広い視野に立ち、組織的に行動できる教師 ○互いのコミュニケーションを大切に、教育目標を達成しようとする教師 ○研修に励み、自己の授業力向上を目指すとともに、新学習指導要領に対応した授業改善に努力する教師 ○校内OJTを日常的に実践し、研鑽に励み、自己の能力と資質の向上に努める教師 ○UD教育を推進し、生徒の発達段階や特性を理解しながら一人一人の気持ちに寄り添い公平に対応できる教師 ○保護者・地域の願いや思いを理解できる教師 ○いじめ・暴力・暴言等に対し、不適切な指導や体罰を伴わない毅然とした態度で指導できる教師 |

様式 4

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|--------|--|------|---|----------------------------|----------------------------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 各教科等指導 | 知識・技能を徹底し思考力・判断力・表現力を伸ばす授業 【進路学習部】 | B | 思考力・判断力・表現力を伸ばすための、話し合い活動や意見交換については、教員・生徒ともに満足 of いく授業となっているが、知識・技能を徹底するために、授業の最後や、単元の終了時等、適切なタイミングでドリル学習や小テスト・単元テストを行い、内容の理解度の確認、定着を促す。 | A:8 B:3 C:1 無回答 1 | A:7 B:3 C:0 無回答 3 |
| | ユニバーサルデザイン教育を取り入れ、どの生徒にとっても分かりやすい授業 【研究推進委員会】 | B | それぞれの教員目線での生徒にとっても分かりやすい授業を行うことができた。加えて、教員間の情報交換や指導方法の共有などを行い、統一した指導が必要な場面に生かしたい。また、主体である生徒にも、どのような授業や指導が分かりやすく取り組みやすいか発信する場を与え、より「どの生徒にとっても分かりやすい授業」づくりを推進する。 | A:7 B:5 C:0 無回答 1 | A:8 B:2 C:0 無回答 3 |
| | 社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等 【進路学習部】 | C | 学校としては、順を追って進路指導・キャリア教育を行っていると考えていたが、生徒は進学についての指導をより求めていることが分かった。1年生から上級学校への進学を視野に入れ、高校調べだけではなく、到達度テストや面談ごとに、目標とする学校を考えさせたり、得点計算をさせたりする機会を取り入れていく。 | A:5 B:6 C:1 無回答 1 | A:6 B:7 C:1 無回答 3 |
| | 教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等 【進路学習部】 | D | 区学力調査や実力テストについて、問題の分析を行い、授業内で演習の時間を取り入れている。また、授業内で関連する既習事項の復習を取り入れるなど、定期的に復習する機会をつくる。 | A:6 B:3 C:3 無回答 1 | A:6 B:3 C:1 無回答 3 |
| | 主体的な学びと家庭学習の確立 【進路学習部】 | C | 生徒たちの宿題の実施率・提出率は高い。一方で、自主的に家庭学習を行っていると考えている生徒は多くはない。提出を必須とする課題を提示し、それを実施するための時間や方法を計画することを通して、家庭学習習慣の定着を図っていく。 | A:7 B:3 C:3 無回答 0 | A:6 B:4 C:1 無回答 2 |
| | 学校運営連絡評議会委員の皆様よりご意見・ご感想等 | | <ul style="list-style-type: none"> ・達成状況を見て、目標の高さを感じました。今後もよろしくお願ひします。 ・行ける高校ではなく、生きたい学校ができれば意欲的に勉強するようになると思う。早くから高校を意識できるような機会があればもっと良い。 ・日頃の熱心できめ細やかなご指導ありがとうございます。 ①昨年までの記載に見られたDE層という「術語」がなくなったことは良かった。「公報」の一つとして今後もその方針を維持してほしい。 ②日常的に先生方は寄り添う教育をされていると思いますが、「教員の指導力・授業 | | |

| | | |
|--|--|--|
| | | <p>力を高めるための、組織的な取組等」の自己評価がDとなっているのは、正答の達成率が 24.4%を反映していると思われる。経年変化も見えていくべき。</p> <p>③家庭学習の確立は追及すべきであろうが、それは家庭の問題でもある。学校の教師からすれば家庭学習をしなくては追いつかない授業速度を保てば簡単なことではあるが、当然ながら追いつけない生徒が続出することは自明な事ゆえ、ジレンマに陥る。教師は授業そのものが主体的になるような教育技術に専念することで良いのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上を目指すには、色々な要素が一つに重なることが求められるが、教員の指導力、生徒間との学習ルールがなかなか難しい。 ・同じ教科でも先生によって分かりやすい、分かりにくいがはっきりすると子供が言っていた。教員間の情報交換を密に行ってほしい。 ・学びに対し、分からない事や立ち止まっている生徒へ「分からない事や困っている事がある時は聞いて？」ではなく、「一緒に考えよう」や「もう一度やり直そう」など、背中を押す言葉を掛けてほしい。 <p>ご質問と回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員のアンケート結果で 90%近くになっているが、学校の方針が全職員に統一されているなら 100%になっていない。1~2名の職員が回答していないか、それとも否定的だったと思われる。その理由がほしい。 <ul style="list-style-type: none"> (回答) 方針に対して、否定的・非協力的な教員がいるわけではなく、より高みを目指したいという考えから、まだまだできることがあり、それを模索している教員がいるということが理由だと考えられる。 ・「社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等」の改善策について、得点計算とは何ですか。 <ul style="list-style-type: none"> (回答) 1、2年生の生徒たちはインターネットの偏差値表を見て、学校を探すことが多い。ただ、都立高校の入試では、当日の試験のみで合格が決まるわけではない。また、実技教科の内申点は、5教科の2倍の得点で計算するなど、複雑なところもあり、日々の授業への取り組みを振り返るためにも、1年生のうちから得点の計算のしかたを知ることは大切だと考える。 ・「主体的な学びと家庭学習の確立」の改善策について、問題の分析とは何ですか。テスト等の内容(出題傾向)の分析ならば不要ではないか。 <ul style="list-style-type: none"> (回答) 問題の分析について、テストの問題には、今を生きる子どもたちが求められている学力とはどのようなものなのかが表れる。これは、都立入試や区の学力調査、実力テストに共通することで、テストの対策のために分析をするのではなく、子どもたちが求められている学力を再確認し、授業改善につなげるためにも、テストの分析は行っていく必要があると考える。 |
|--|--|--|

様式 4

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|-------|--|------|--|-----------------------------|-----------------------------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 生活指導等 | 不登校生徒を出さない取組と解消のための取組 【生活指導部】 | A | 日頃の生活指導を通じた生徒理解、行事や部活動を通じた生徒の自己肯定感、自己有用感の醸成により、生徒が安心して学校生活を送る環境や雰囲気がつくられた。また、生徒・保護者に対する担任の手厚い支援と密な連絡、各関係機関と連携した登校サポート、入室生徒一人一人にあった SSR の運営など、不登校生徒への支援が徹底されていた。以上を継続する。 | A:10 B:1 C:1 無回答 1 | A:10 B:0 C:1 無回答 2 |
| | 基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等 【生活指導部】 | A | 教員が率先して挨拶を行うことを、挨拶や礼法指導として率先垂範した。遅刻がみられる生徒は、学年間で情報共有し、声掛けや保護者との連携につなげた。また、セーフティ教室やいじめ防止授業を通して、自他を尊重する態度を養えるよう努めた。継続していく。 | A:13 B:0 C:0 無回答 0 | A:12 B:0 C:0 無回答 1 |
| | 問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等 【生活指導部】 | A | 生活指導部会、いじめ対策委員会を開き、いじめの予防や認知、認知後の指導をすぐに行った。また、校内委員会を開き、特別な支援を要する生徒の把握や支援、配慮事項の共有など、様々な視点から生徒を指導・支援し、問題行動の予防・解決を行った。 そして、学校生活に関するアンケートや1学生対象の SC 面談を行い、生徒の悩みや不安を把握し、解消に努めた。継続して取り組むとともに、「いじめはないもの」ではなく、「常に起こりうるもの」として捉え、生徒理解や生徒指導を行う。 | A:8 B:2 C:1 無回答 2 | A:9 B:0 C:1 無回答 3 |
| | 安全を確保するための取組等 【生活指導部】 | B | 月に一度、避難訓練を実施し、災害や不審者侵入の際の対応の仕方を指導した。また吾孺立花中タブレットルを策定し、情報リテラシーの育成を図った。継続するとともに、なぜ行うのか、なぜ必要なのかといったことを強調していく。 | A:12 B:1 C:0 無回答 0 | A:10 B:1 C:0 無回答 2 |
| | 学校運営連絡評議会委員の皆様よりご意見・ご感想等 | | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の委員の一人として、直接生徒のみなさんとの触れ合う機会がないこと申し訳ございません。 ・いじめは犯罪ということを生徒が認識し、見て見ぬふりすることなく生徒同士が声をかけ合える環境を作ってほしい。 ・「不登校生徒を出さない取組」「問題行動の予防や解決」で生徒アンケートが80%以上になっていない点に対して、今後どうするのかもう少し考慮が必要。 ・生徒を毎日あちこちで目にしますが、服装・容儀等非常にきちんとしていて、先生方のご指導に頭が下がります。私は「卒業生」の一人ですが、いつどなたが見ても恥ずかしくない学校へと成長できたことにお礼を申し上げます。生徒指導(生活指導)と学習指導は教育の両輪ですので、一方がブレーキを起こすと他方も前進 | | |

| | |
|--|---|
| | <p>できません。その意味で生徒指導が安定していることは今後の学習指導にも好影響をもたらすと思います。一点、「改善策」には「過去形」が多く、それを継続することが改善策となっていますが、「不登校」と「問題行動」の項目では教師側と生徒側の評価に乖離が見られるので、新たな改善策を期待したいところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の生徒がほとんどいない状況は素晴らしい。対応が良いと思う。不登校は親のせい。学校・地域、誰もがいち早く「気づく」ことが大切。 ・先生方の取組に日々感謝の気持ちです。これからも継続し子供たち 1 人ひとりを見守ってください。 ・「不登校生徒を出さない取組と解消のための取組」についての生徒アンケート結果について、肯定的回答(79.7%)以外は、否定的回答なのですか。その否定的回答をした生徒への対応が重要だと思う。 ・「問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等」についての生徒アンケート結果について、肯定的回答(75.9%)以外は、否定的回答なのですか。その否定的回答をした生徒への対応が重要だと思う。 <p>ご質問と回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不登校生徒を出さない取組と解消のための取組」の改善策について、「入室生徒」とはどのような生徒ですか。 (回答)「入室生徒」とは校内適応指導教室(校内スモールステップルーム)を利用している生徒を指す。様々な事情から教室に入ることができない生徒や、長期化した不登校からの段階的な復帰を目指す生徒を対象に、学校の教員と支援員が連携しながら個別学習や相談などの支援を行っている。 ・「問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等」の改善策について、「1年生対象の SC 面談」とは、1年生全員を行うのですか。 (回答)1年生全員を対象としたスクールカウンセラーによるグループ面談を実施している。グループ面談で気になった生徒は個別面談を実施している。 |
|--|---|

様式 4

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---------|---|------|--|--------------------------------|-------------------------------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 学校の管理運営 | 経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等と生徒の実態に合わせた教育目標設定及び評価等 【教務部・校務支援部】 | C | 保護者アンケートの回収率を高める工夫をする。まずは保護者が回答しやすい質問を設定する。連絡メールで回収の呼びかけを増やす等の対策を行う。 | A:4 B:5 C:2 無回答 2 | A:6 B:2 C:2 無回答 3 |
| | 教育環境・設備等の設備状況等 【生活指導部】 | A | 清掃指導によって、日頃から使う教室の学習環境や廊下等の生活環境の美化に努めた。破損があった際には早期対応を行った。 | A:11 B:0 C:0 無回答 2 | A:9 B:0 C:0 無回答 4 |
| | 体罰等サービス事故防止 【管理職】 | A | 今年度、サービス事故案件は1件も発生していない。年3回のサービス研修に加え、日常的に他行の事例等に触れながら様々な注意喚起を行ってきた。今後も気を緩めることなく、教職員の勤務状況をつかみながら指導を継続していきたい。 | A:11 B:0 C:0 無回答 2 | A:9 B:0 C:0 無回答 4 |
| | 学校運営連絡評議会委員の皆様よりご意見・ご感想等 | | <ul style="list-style-type: none"> ・先生方が心身ともに健康でやりがいを持って勤務できるよう学校内で改善できることがあれば取り組んでほしい。 ・保護者アンケートを紙ベースだけでなく、web等を活用して回収率を高める工夫をしても良い。検討する必要があるのではないか。 ・保護者アンケートの回収率を高める工夫とあるが、どの保護者も子弟の教育の実相について十分に承知しているわけではなく、アンケートに回答しようがない、従って提出しようがない、という方も多いのではないか。また質問そのものに実相をつかめていない保護者に回答しにくいものが多いのではないか。学校の教育方針や経営方針などの説明会を、学運協の会議同様に夜間に行うことが可能であれば保護者の参加も増えるのではないか。また学校だよりや学年だよりを生徒が保護者にきちんと渡しているのかも確認したい。 ・サービス案件が後を絶たないなか、問題がないことが素晴らしい。教員同士の意識の高さが伺われると同時に、校長先生の学校経営に対する姿勢も良い。 ・保護者アンケートの低い理由は、保護者がこのようなアンケートについて不要と考えているのではないか。保護者全員にアンケートを出さなかった理由を聞くべきではないか。 | | |

様式 4

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---------|-----------------------------------|--|---|----------------------------|-----------------------------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 家庭・地域連携 | 教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等 【教務部】 | B | 学校アンケートにおいて、学校からの連絡メール CoCoo の情報発信共有に関する項目では、保護者からの肯定的な意見が95%であった。今後とも迅速に活用していく。また、ホームページや学校だよりで日ごろの教育活動を伝える取り組みも、保護者からの肯定的意見が86%であった。今後はホームページの更新がさらにこまめに進むように、分掌内で担当と期限を調整していく。 | A:9 B:2 C:1 無回答 1 | A:10 B:0 C:0 無回答 3 |
| | 保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進等 【教務部】 | B | 学校アンケートでは、『学校や地域が提供する交流活動やボランティア活動に参加し、多様な人と関わり、社会の一員として貢献しようとしている』に対する肯定的な意見が60%を下回った。友愛まつりは100人以上のボランティアが集まったが、学校アンケートは友愛まつり前に行っているため、今回は数値に反映されなかったと考えられる。 | A:6 B:4 C:1 無回答 2 | A:6 B:2 C:1 無回答 4 |
| | 学校運営連絡評議会委員の皆様よりご意見・ご感想等 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校を創っているのは生徒と先生だと思しますので、サポート役として保護者の力が必要などきはいつでもお声かけください。 ・友愛まつりに関しては、教職員に温度差があった。 ・学校や地域が提供する交流活動・ボランティア活動への参加で生徒アンケートが60%を切っている。確かに友愛まつりで100人以上のボランティアが集まったが、全校生徒数から見るとまだ低いと思う。友愛まつりだけでなく、もっと地域(町会や自治会)イベントに生徒を参加させる必要があるのではないか。 ・学校だよりあるいは学年だよりの毎月発行など、校長をはじめみなさまのきめ細やかなご尽力に敬意を表します。 ・いつも学校だよりありがとうございます。概ね学校の様子が分かります。 ・SNSなど情報を最優先する今日この頃、子供達は、頭は切れますが中身はまだまだ子供ですので、学校・保護者・地域が三位一体となってこれからも頑張りましょう。 | | | |

様式 4

委員の皆様からの全体的な感想

- ・前回より保護者には分かりやすいアンケートだと思いました。生徒のアンケートはとても良いと思います。
- ・職員室の雰囲気が明るくきっと風通しのよい職場なのだろうと思います。先生方の雰囲気の良さが生徒にも伝わって吾立中全体が活気ある落ち着いた学校になっていると思います。吾立中の先生方がやっていることは間違っていないと思いますので、引き続き真摯に向き合って頂けたらありがたいです。
- ・全体的な感想として大体の教員が学校の方針に対して理解して取り組んでいるように思うが、数名の教員が否定的であることが気にかかる。職員一丸となって学校方針に理解して取り組まないと、否定的な職員に生徒が引っ張られてしまう気がする。否定的な職員の言い分を聞いて、職員一丸となって学校の方針を理解して取り組んでください。せっかく良い学校方針を掲げておられるので、大変ですが頑張ってください。
- ・日頃より生徒に対する指導並びに保護者に対する理解をいただきありがとうございます。今後とも生徒が過ごしやすい学校をさらに目指してご指導の程、よろしくお願い致します。
- ・吾立分室、学童クラブへのご理解とご協力ありがとうございます。今後もボランティア部との連携をよろしくお願い致します。
- ・①評価について
「自己評価」についての「関係者評価」が良く理解できない。先生方の「自己評価が D:満足できない」という項目で「関係者評価も D」とした場合は、「教師の満足できないという自己評価は関係者からも満足できない」となるが、失礼ではないか。さらに同問で「関係者評価は A」という場合は「教師が満足できないとする評価を関係者は満足できる」となり、ひどいことになってしまう。関係者評価というものは教師の自己評価に対する評価ではなく、本来は一年間の実施内容(学校だより、学年だより、学校行事、授業参観、特別活動などから感じられること、あるいは教員・生徒アンケートの回答などから類推すること)に対する関係者からの評価ではないか。教育委員会に問い合わせしていただきたい。
- ・先生方の生徒に対して取り組んでいる姿勢が素晴らしい。地域との一体感があると思われる。生徒は大変落ち着いている。学校運営・学級運営共に良い活動ができていると思う。
- ・いつも子供たちの為にと一生懸命な先生方に感謝です。
- ・日々子供達がお世話になっております。吾立中に入学し、学び、友達を作り、スポーツやその他部活動に参加し、卒業し、この学校この学年で良かったと何十年経っても胸を張って誇れる学校になる事を期待しています。墨田区 No.1、私達、地域の皆で協力させていただきます。

2 令和5年度学校評価のまとめ

不登校対応において一定の成果がでたと考える。今後も課題を抱えた生徒に寄り添いどの生徒にも充実した学校生活を送れるようにしていきたい。学習において、学びのユニバーサルデザインについて研究し、分かりやすい授業を目指し、授業改善を継続すると共に家庭学習を充実させ、学びのサイクルができるように指導体制を整えていくことを目標としてきたが、十分な成果が見られたとは言えない。生徒指導のアンケート共に学習やキャリア教育における生徒の満足度と教員の満足度に乖離がみられる。来年度は学習や生活面において生徒の満足度がより得られるよう学校経営方針・学校経営計画を見直し、具体的な改善策を考えていきたい。また、保護者アンケートの質問項目において保護者が回答しやすい質問形式に変えていく予定である。